

たかが寄生虫？ なんて、油断は禁物。



犬が感染すると、飼い主にうつることも…

知っていますか？ 寄生虫が引き起こす犬の病気

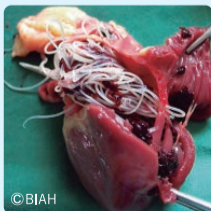
代表的な媒介性疾患や被害例



犬のフィラリア症

蚊

蚊が媒介する代表的な犬の病気。フィラリア(=犬糸状虫)が肺動脈や心臓に寄生することにより発症します。



©BIAH



ノミアレルギー性皮膚炎など

ノミ

ノミによる吸血が繰り返されるとアレルギー性の皮膚炎を起こすことがあります。激しいかゆみや湿疹、脱毛などを引き起こします。

画像: Canine Dermatology Book, courtesy of Eric Gu aguere and Pascal Prelaud

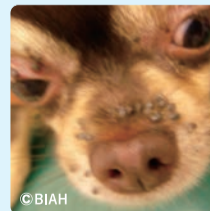


貧血や皮膚炎 犬バベシア症、SFTS*¹など

マダニ

マダニはあらゆる場所に潜み、動物やヒトに恐ろしい感染症などの被害を及ぼすことがあり、最悪の場合死に至ることもあります。

愛犬にマダニを見つけたら、すぐに動物病院へ！
飼い主さんが無理に取ろうとしてはダメ！傷口が化膿したり、病原体をペットにうつす可能性があります。急いで受診しましょう。



©BIAH

*1 SFTS(重症熱性血小板減少症候群) ※他にも様々な媒介性疾患や被害のリスクがあります

月に1度おいしく食べるだけの、オールインワン*²の寄生虫対策があります。

詳しくは、当院にご相談下さい。

*2 フィラリア症予防、ノミ・マダニ対策、複数のお腹の虫駆除を1剤で対応

ZENOAQ

Boehringer
Ingelheim